

平成 23 年度（2011 年度）広島市民球場運営協議会 会議要旨

1 開催日時

平成 24 年（2012 年）3 月 16 日（金） 14：00～15：00

2 開催場所

広島市役所本庁舎 14 階 第 7 会議室

3 出席者

(1) 委員（13 名）

城納 一昭、深山 英樹、加藤 義明、山本 治朗、青木 暢之、伊丹 幸男、
中原 律子、石井 健一郎、川瀬 啓子、曾根 幹子、下中 奈美、
部谷 京子、松田 元

(2) 広島市

松井市長（挨拶後退席）、荒本副市長
片平都市活性化局長、新谷都市活性化局次長（兼）都心再開発部長
品川市民球場調整担当課長

(3) 株式会社広島東洋カープ

勝場球場運営本部長

4 議題

- (1) 広島市民球場の運営状況等について
- (2) 平成 23 年度（2011 年度）施設利用実績について
- (3) 2011 年カープ球団の事業実績について
- (4) 命名権について
- (5) その他

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者	2 名
報道関係者	5 社

7 会議資料

- (1) 次第
- (2) 配席表
- (3) 委員名簿
- (4) 平成 23 年度（2011 年度）広島市民球場運営協議会資料及びその参考資料

8 会議要旨

委員定数 20 名で、出席者 13 名であり、定数の過半数を超えているため、協議会が有効に成立していることを事務局が説明し、議題を説明。

<議事>

事務局： 定刻になりましたので、只今から、平成 23 年度（2011 年度）広島市民球場運営協議会を開催します。皆様方にはご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、本日の司会進行を担当します、都市活性化局次長の新谷と申します。どうぞ、よろしく申し上げます。それでは、開催にあたりまして、松井広島市長よりご挨拶申し上げます。

市長： 広島市民球場運営協議会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。委員の皆様には、日頃から本市の市政推進にご理解、ご協力を賜っており、心からお礼を申し上げます。

さて、マツダスタジアムは、ご承知のとおり、平成 21 年 4 月の開設以来、全国から多くのファンにご来場いただいております。昨年度は、プロ野球観戦の入場者が約 154 万人にも上っています。また、野球が開催されない日に実施しておりますコンコースの一般開放などにも、約 3 万人もの市民あるいはファンが来場されておりました、全国の野球ファンやメディアの高い関心を集めております。

プロ野球興行時には、県内の市町はもとより、遠くは九州・沖縄、あるいは北海道から観光PRなどにお越しいただいております中で、この度、施設機能の更なる向上を図るため、コンコースのイベントスペースの拡大整備をしたところであります。広島の新たな観光資源として、また、多くの皆様を楽しめる施設として、ますます魅力アップにつながっていくのではないかと考えています。

また、球場周辺の集客施設の整備を行っているところですが、昨年 10 月 31 日に土地売買契約を締結した球場東側のエリアで、大型スポーツクラブ、大型商業施設、分譲マンションが整備されることになっており、昨年末から順次、事業着手され、今年秋、大型スポーツクラブが他に先行して完成する予定になっております。

広島市といたしましては、引き続き、球場西側エリアの集客施設の早期整備に向けて取り組んでいきたいと考えております。

さらに、広島の大目玉としております、広島駅周辺地区では、「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現に向けた都市機能の充実強化の拠点ということに位置付けておりました、とりわけ、南口Bブロック、Cブロックの市街地再開発事業と北側の二葉の里土地区画整理事業を推進するほか、南北をつなぐ駅の自由通路、そして、それをつないだ後の駅から球場に向かうペデストリアンデッキの整備も課題になっております。さらには、広島の玄関口、広島駅広場の整備を行っていき、これらのことを通じまして、広島の「顔」にふさわしいまちづくりを行っていきたいと考えております。

本日、委員の皆様方には、球場の運営状況や施設利用実績などについて、ご報告させていただきたいと思っております。皆様の声を今後の球場運営に活かし、より魅力ある市民球場にしたいと考えていますので、忌憚のないご意見やご要望をお聞かせいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局： 引き続きまして、委員のご紹介です。

本協議会は、球場の運営に関する報告、審議などを行うことを目的として、委員 20 名で構成されています。時間の関係もございまして、お手元の「委員名簿」でのご紹介に代えさせていただきます。

なお、本日は、山下委員、高木委員、西川委員、田村委員、古川委員、近藤委員、井巻委員の 7 名は、所用によりご欠席となっております。

本協議会は、委員の過半数の出席により成立することになっております。本日は、20 名のうち 13 名に出席いただいておりますので、有効に成立しております。

次に、事務局の職員につきましては、副市長の荒本以下、担当の職員はお手元の「配席表」のとおりです。また、本日は、議題の関係上、広島東洋カープの勝場球場運営本部長にも、事務局側に出席をいただいております。

ここで市長は、所用がございまして、退席させていただきます。

事務局： それでは、まず、お手元にお配りしております資料の確認をお願いします。

本日の「次第」、「配席表」、「委員名簿」、それと別綴じの「平成 23 年度広島市民球場運営協議会資料」及びその「参考資料」となっております。

本日の会議は、お手元の次第に沿って進めてまいりたいと考えております。それでは、ここからは、会長に議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長： それでは、早速、議事に入りたいと思っております。まず、議題 1 「広島市民球

場の運営状況等について」です。内容について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 広島市民球場運営協議会の資料の1ページをお開きください。「広島市民球場の運営状況について」ご説明いたします。最初に平成22年度（2010年度）の指定管理経費等の収支状況についてです。まず、簡単に球場運営の仕組みについて、ご説明いたします。広島市民球場では、施設の利用料金を指定管理者の収入とする利用料金制を採用しておりまして、利用料金収入により施設の維持管理費を賄う仕組みとなっています。

指定管理者は、利用料金収入から年度協定書で定める維持管理費を除いた額にプロ野球公式戦の年間有料入場者が100万人を超えた場合に、超過した入場者に応じて、カープ球団から徴収する歩合料金を加えた額を指定管理納付金として市へ納付しています。

平成22年度の実績ですが、収入は4億9,243万8千円で、この中にはプロ野球・アマチュア野球等の利用料金、プロ野球公式戦の年間有料入場者が100万人を超えた場合の歩合料金、それ以外に中継ケーブルや設備料金が含まれております。支出については、合計4億9,916万8千円で、その内訳は、維持管理費が2億3,594万5千円、市への納付金が2億6,322万3千円です。収入と支出との差引は、673万円の赤字となっています。

次に、平成23年度の球場の観戦環境の改善等についてです。参考資料の3ページをご覧ください。1点目といたしまして、大型スポーツ施設と球場3階コンコースとの接続工事です。これは球場東側エリアにおいて整備される大型スポーツ施設と球場3階コンコースを接続することで、プロ野球開催時に球場の回遊性をより高め、一体感のある賑わい空間の創出が図られます。現在、大型スポーツ施設の工事を行っており、今年の秋頃に完成予定です。

2点目といたしまして、3階コンコース等の増床工事です。昨シーズンまではプロ野球開催時に県内外の市町PR等のイベントスペースとして主にバックスクリーン横のウッドデッキ付近を使用していましたが、この度、1塁側のバーベキューができるビックリテラス背後のコンコース付近を約140㎡拡幅し、イベント開催用のスペースの拡充が図られました。本年3月初旬に完成し、3月10日のオープン戦から使用されています。今、説明しました2点の改修はいずれもカープ球団で整備されます。

以上が、議題1の説明です。

会長： ただいまの説明につきまして、何か、ご質問・ご意見があればお願いします。無いようでしたら、引き続き、議題2の施設利用実績から議題5のその

他まで一括して事務局から説明をお願いします。なお、議題3の「2011年カープ球団の事業実績について」は、広島東洋カープの勝場本部長から説明をお願いします。

事務局： 本編の資料1ページを再度、ご覧ください。「平成23年度（2011年度）施設利用実績について」です。まず施設利用日数は公式戦、オープン戦、ウエスタンを含むプロ野球興行が81日、これは2011年シーズンという整理で備考にも書いておりますように平成23年3月に開催されたオープン戦、公式戦を含んだものとして整理しております。

その他、高校野球などアマチュア野球が65日、イベントその他が6日、1周600mのコンコースを自由に散策できるコンコース開放が3月の見込みも含めて80日、プロ野球あるいはアマチュア野球の雨天中止日などが25日で、合計257日となっております。

資料の2ページをお開きください。カープ球団の自主事業等についてです。コンコース開放が2月末時点の実績で74日、来場者数18,533人です。スタジアムツアーが70日で参加者数は6,966人です。また、社会見学の一環として市立の幼稚園、小学校、中学校の児童・生徒、さらに今年度は一部安芸郡の小学校の児童も対象に無料のスタジアムツアーを実施していただき、17日、2,123人の参加がありました。コンコース開放など合計で161日、27,622人の来場、参加があり、こうした取り組みを通じて、球場の観光資源化や地域交流の促進に大きく貢献していただいております。

続きまして、プロ野球興行時の来場者動向です。参考資料の4ページをお開きください。

今年度も9月17日土曜日の対阪神戦のデーゲームで、来場者に対しアンケート調査を実施しました。4ページの上に調査の概要を示しておりますが、入場者数29,896人で1,716枚の有効回収を確保いたしました。

それでは調査結果の概要をご説明いたします。まず性別では、男性6割、女性4割となっております。過年度調査との大きな違いは見られません。次に年代について見ますと、オレンジの「30歳代」、ピンクの「40歳代」がもっとも多くなっており、合わせて5割以上を占めています。過年度調査との大きな違いは見られません。

次に来場者の自宅住所地では、阪神戦であったため、「広島県外」の割合が非常に高く、5割を上回っています。ちなみに過年度では阪神戦以外の対戦カードでは3割から4割が「広島県外」となっています。

次に5ページをお開きください。野球観戦後の交通手段です。「JR」「自家用車」が他の交通手段を大きく上回っています。過年度調査と比較します

と大きな変化はありません。

次に野球観戦後の予定ですが、「自宅へ帰宅」「ホテル・旅館へ帰宅」「実家・親戚の家に帰宅」の「帰宅層」が全体の約8割弱を占めています。「買物・娯楽・観光」のいわゆる「回遊層」の割合は低くなっています。

次にマツダスタジアムの評価についてです。「球場の楽しさ」「スタッフの接客態度や案内」「球場の清潔度」「トイレや売店など球場内の施設の位置のわかりやすさ」「球場の使い勝手や安全性」についてその満足度を聞いていますが、すべての項目で「満足」「やや満足」の合計の割合が7割以上を占めており、マツダスタジアムが高い評価をえていることがわかります。

次に6ページには主な自由意見を掲載しています。様々なご意見、ご要望をいただいておりますが、これらの要望につきましては指定管理者であり、プロ野球興行者であるカーブ球団にも情報提供し、必要に応じて本市とも協議しながら、その対応策や改善策等について検討し、改善できるものは実施しております。

以上で議題2の説明を終わります。

事務局： 続きまして、議題3の「2011年カーブ球団の事業実績」について、ご説明させていただきます。お手元の資料の3をご参照ください。

まず、プロ野球の入場者数については、開設3年目を迎え、前年度に比較しますと、1%減少しましたが、ほぼ、前年並みのお客様にご来場いただきました。(2)の経営状況につきましては、株主総会の決算承認前でございます。見込の計数ということになります。売上が96億5,000万円と、前期比2%の微減収となる見込みです。(3)の地域貢献活動につきましては、詳細用資料として、参考資料に添付しております。

今後とも地域と地域、世代と世代を結ぶ活動に積極的に取り組んで参りたいと考えております。簡単ではありますが、説明は以上です。

事務局： 続きまして、資料の3ページをお開きください。議題4の「命名権について」です。まず契約概要ですが、命名権取得者はマツダ株式会社で、命名権名称はMAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島です。命名権名称使用期間は平成21年4月から5年間です。契約金額は消費税込で年間3億1,500万円です。

命名権取得者であるマツダ様には、命名権料だけではなく、球場を核として様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいただいております。ここで、平成23年度の実績をご紹介します。まず1点目といたしまして、マツダスタジアムのナイター照明の電力分のグリーン電力購入です。2点目といたしまして球場来場者100万人毎の福祉車両の贈呈です。今年

度は累計 400 万人を達成いたしましたので福祉車両 1 台を贈呈していただきました。3 点目は球場周辺の清掃活動です。プロ野球シーズン中に、社員とその家族の皆様により、合計 4 回、延べ 593 人が参加され、球場周辺の清掃活動をしていただいております。4 点目は球場コンコースへのヘリテージコーナーの設置です。カープ球団、マツダ㈱、広島市の歴史などを展示するコーナーを球場 3 階コンコースに設置していただいております。5 点目は球場の情報発信です。マツダ㈱のグローバルオフィシャル WEB サイトなど各種媒体を通じて球場の情報を発信していただいております。なお、平成 24 年度は今年度と同様の事業を実施される予定です。

最後に「その他」についてです。ここでは、現在、マツダスタジアムに隣接して計画されております広島市民球場周辺地区開発の進展がありましたので、その現況について簡単にご説明させていただきます。参考資料の 26 ページをお開きください。

広島市民球場周辺地区開発は資料上段の平面図にありますようにマツダスタジアムを挟みまして右側、球場東側エリア約 2.6 ヘクタールと左側、球場西側エリア約 1.8 ヘクタールの合計 4.4 ヘクタールの民間開発で三井不動産㈱が事業者となり集客施設等の整備を行う計画となっております。

このうち球場東側エリアが先行的に整備されることとなり、昨年末から順次、工事に着手され、今年秋ごろには大型スポーツクラブが完成し、先ほど観戦環境の改善のところでご説明しましたように、球場 3 階のコンコースと接続されます。また平成 25 年 3 月には大型商業施設が開業予定となっております。

資料の 4 ページをお開きください。ここで各施設の概要について、球場に関連する事項を中心にもう少し詳しくご説明いたします。まず大型商業施設です。この施設は会員制の倉庫型店舗で、1 階にフードコートを設置し、野球開催時、非開催時ともに人々が集まり交流する賑わい空間を創出する計画となっております。この大型商業施設には約 1,000 台の駐車場が設置されますが、プロ野球開催時にはこのうち 200 台分を球場用一般駐車場として利用することとなっております。

次に大型スポーツクラブです。この建物の 3 階と球場 3 階コンコースが直接接続され、プロ野球開催時には野球観戦者の回遊性が高まる賑わい空間を創出する計画となっております。この大型スポーツクラブの駐車場には球場用バリアフリー駐車場を確保する計画となっております。

最後に分譲マンションは球場と隣接した希少価値のある分譲住宅として、15 階建、42 戸が計画されております。

以上で説明を終わります。

会 長： それでは、ただいまの議題 2 から議題 5 までについて、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

委 員： 参考までに教えていただきたいのですが、参考資料の 4 ページのアンケート調査についてですが、調査概要で入場者数が 29,896 人で、配布数が 1,716 枚と、1 割弱配布していますが、配布方法はどのように行ったのでしょうか。

事務局： 球場の中の各ゲートで入場された方に対して、直接手渡しで配布しました。ただし、明らかに団体で来られた人には、1 団体に 1 枚を配布しております。

委 員： コストコホールセールジャパンが開業されるフードコートに関しては、試合が始まってからも購入可能なのでしょうか。

事務局： 球場を 1 回出ることにはなりますが、可能です。

委 員： カーブ球団は地域貢献活動で様々なことをされており、大変素晴らしいと思います。地域のみなさんが参加できるような取組、ファンクラブのようなものがあるのでしょうか。例えば、県北の庄原市等では、地域をあげてカーブを支援するような取組を行っています。そういった地域が広がって、様々な地域でなじみの選手ができて、各地域においてカーブ球団、球場を支えるような仕組みが広がっていけばいいなと思います。それがひいては、来場者の獲得にもつながっていくと思うのですが。

委 員： 去年は竹原市の竹を使用しまして、バックスクリーンの後ろ側のコンコースに、日陰を作ったところ、非常に好評でしたので、今年は、ウッドデッキエリアに同様のものを作る予定です。

三次市や福山市、尾道市、呉市で試合を開催すると、正直、経営上つらいですが、広島に来なくても各地域で野球観戦ができるよう極力、オープン戦、公式戦を行うようにしています。絶えず、地域や行政とのつながりを大切にしています。

委 員： アンケート調査の結果、マツダスタジアムは大変高い評価を得ていて、素晴らしいと思います。ただ、やや不満や不満という評価があるので、今後はそれらの意見をなくしていかなければならないと思います。特に、球場の使い勝手や安全性、位置のわかりやすさについては、少数ではありますが、不満の意見が出ております。安全性については、危惧しておられる方もいると思います。これらについて、改善をしていくべきではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

また、回遊性が少ないということもありますので、現在、広島市、広島県共に観光に力を入れているということもありますので、そのあたりとリンクしたら回遊性が高まるのではないかと思います。

委員： アンケートを行ったのは、昨年3月11日の震災後に行ったもので、そういう意味での安全性に対するご不安というものがあつたと思います。ですから、私どもは、広島市の指導のもと、緊急時の避難通路等の標識を再度見直し、今年から地震や火事等の避難案内表示を一新しました。

また、緊急時の対応について、職員だけでなく、アルバイトや球場で勤務している人たちが避難誘導などをスムーズに安全に行うことができるよう、訓練日を設けることにしました。

事務局： 先ほどのご質問の2点目についてですが、資料の野球観戦後の予定のところで、帰宅層が多く、買い物や観光が少ないということですが、これは、ご指摘のように、本市としても改善しなければいけないと思っております。市長のもとで、観光については、「おもてなしの観光」をしていこうということが新年度からの大きな柱となっております。野球はナイターも多いため、夜型観光を作り上げていく。それから飲食店の組合と共同して、球場のほうへ呼び込むような仕掛けをうまくやれば、マツダスタジアムだけではなく、地域全体の観光への経済効果を期待できるのではないかと考えております。そういった取組を強化していこうと考えております。

会長： その他ご意見ありませんでしょうか。

委員： 足の悪い方のために、タクシー乗り場の前に横断歩道ができればいいと思うのですが。

事務局： 足の不自由な方につきましては、タクシー乗り場はエレベーターがありますので、エレベーターをご利用いただいております。タクシー乗り場の前面道路はカーブになっていまして、公安委員会とも協議した結果、あそこに横断歩道を設置すると見通しが悪くなり、非常に危険だということで、現在のようになっています。

委員： 民間開発が行われる土地について、オープンスペース、つまり植栽のようなものを植えて、だれにも開かれたスペースとして使用することはできないのでしょうか。

事務局： 球場東側B地区と呼ばれるところは、既に整備着手されておまして、そこは、今年の秋にスポーツクラブ等が順次出来ていくということになります。

それで、今、球場西側のエリアについて、カーブ球団のほうで、子供の遊び場や野球教室の開催を予定されております。

先ほどのご要望についてですが、東側と西側の全体が整備された後においても、オープンスペースであるとか、緑を加味した方が良いというご要望だと思いますので、計画を詰める際に、配慮してもらおうよう事業者の三井不動産のほうに伝えます。

パークタウンが一体となって推進していく、それが相乗効果をもたらす。折角いい施設が整備されますので、運営される方は全体を見渡した運営を行ってほしいと思います。

委員： 資料の3ページを見ていただければと思いますが、大型スポーツ施設と3階コンコースが接続することになります。それと、広島市と球団とルネサンスが協議し、3階のスペースをカープ球団が借り上げまして、プロ野球開催時には、そのスペースでイベントを開催することを予定しています。8月の終わりには、当スペースのオープンの皮切りに、広島の菓子博のPRイベントを実施する予定です。

委員： 3階のコンコースに増床されたイベントスペースは一般の方も使用できるものなのでしょうか。民間企業がイベントスペースとして使用することも可能でしょうか。

事務局： 増床部分は市の施設となりますので、一般の方もご利用いただけます。

会長： その他、ご意見ありますでしょうか。ないようでしたら、時間も迫ってまいりましたので、最後に松田オーナーに来年度の抱負を一言お願いしたいと思います。

委員： 今年のカープは昔の雰囲気に戻ってきたのではないかと思います。特に、ブルペンを見ますと、非常に若さと充実感が感じられます。ですから、今年は守りに関しては、自信を持っていいんじゃないかと思います。去年は防御率3.5くらいでしたが、今年は2.5くらいになるのではないかと、そうしたら破天荒になると。今年は期待していいんじゃないかと思います。

委員： ちなみに今年は来場者数をどのくらい見込んでおられますか。

委員： 私どもは、150万人は必ずとっています。あとはどういう努力を行うかということだと思います。それは、チームの成績も影響するでしょうし。

会長： ありがとうございます。事務局から資料についての補足はありますでしょうか。

事務局： ありません。

会長： それでは、以上をもちまして、本日の運営協議会を閉会します。皆様、長い間お疲れ様でした。

以上

議事録署名者

藤山英樹